

2023年



保護者向け情報シリーズ
Maryland州での特別教育サービス:

個別教育プログラム (IEP)

特別教育プロ
セス

保護者の権利

IEP
の理解について

中等教育への
移行



はじめに

Maryland州特別教育サービスに関する保護者ガイドは、Maryland州の第21回保護者向け情報シリーズの1つであり、Maryland州における特別教育サービス制度において、ご家族を支援することを目的とした出版物の一群です。この小冊子では、個別教育プログラム (Individualized Education Framework, IEP)の各セクションについて説明し、ご家族がお子さんのIEPの作成、検討、改訂のプロセスに全面的に参加できるようにお手伝いします。

目次

4 ページ

特別教育プロセスへの保護者の参加

5 ページ

法律で定められていること

6 ページ

個別教育プログラム

16 ページ

保護者向けチェックリスト

18 ページ

質問がある、支援を求めている方へのご提案

詳しくはこちら

www.marylandpublicschools.org



保護者の参加 特別教育プロセス



児童の教育に保護者が関わることは、より大きな成功へつながります。これは、特別教育を受ける資格がある児童に関しては特に重要です。保護者が子供の教育に参加し、協力し、学校と協力する有意義な機会があれば、特別教育はより効果的です。

特別教育を規定する法律である個別障害者教育法 (IDEA) の起草者は、「障害のある児童の教育は、...保護者の役割と責任を強化し、家族が...学校と家庭で児童の教育に参加する有意義な機会を確保することによって、より効果的に行うことができる」と記しています (PL 108-446 (5)(B))。保護者や家族が児童の教育において積極的なパートナーとなることが重要です。

特別教育プロセスを通じて、保護者は児童の教育に関する決定を下すチームの一員として必要とされます。保護者は、児童を一番よく知っており、児童のチームの他のメンバーと共有できる貴重な情報を持っています。

チームは協力して、「生徒のユニークなニーズ」を満たすように設計されたプログラムを開発し、彼らが学校の環境で成功するのを支援します。



法律で定められていること

IEPとは？

IEPとは、連邦規則集34 CFR § 300.320-300.324に従い、会議で作成、検討、改訂される、障害のある児童のための書面による声明であり、以下を含まなければならない：

- 児童の学業成績及び機能パフォーマンスの現在のレベルに関する記述；
- 学業的目標と機能的目標を含む、測定可能な年間目標の記述；
- 年間目標の達成に向けた児童の進歩の測定方法、また、年間目標の達成に向けた児童の進歩に関する定期的な報告が行う時期についての説明；
- 児童に提供される特別教育および関連サービス、補助支援およびサービス、ならびに提供されるプログラムの変更または学校関係者への支援に関する記述；
- 通常クラスで障害のない児童と一緒に参加できない範囲（ある場合）およびその理由についての説明；
- 個々の適切な配慮に関する記述；
- IEP チームが、児童が通常の評価の代わりに代替評価に参加すると決定した場合、その評価が児童にとって適切である理由の記述；
- 14歳から毎年更新される移行サービス
- 成年時の権利譲渡に関する記述。

保護者とは誰か？34 CFR § 300.30

保護者とは

- 児童の実親または養親
- 里親、但し、州法、規則、または国や地方自治体との契約上、里親が親として行動することを禁じている場合を除く；
- 一般的に児童の親として行動することを認められた後見人。または、児童のために教育上の決定を行う権限を持つ（但し、児童が州の被後見人である場合は、州ではない）；
- 児童と同居する実親または養親（祖父母、継親、その他の親族を含む）の代わりに行動する個人、あるいは子どもの福祉に責任を持つ個人
- § 300.519または639条(a)(5)に従って任命された代理親。



個別 IEP

Maryland州オンラインIEP (MOIEP) は、地方教育機関や公共機関が連邦および州の規制との一貫性を確保するために使用する、常に進化しているツールです。書式を改善する際には、地域のパートナーやその分野の専門家からの意見を求めます。IEPは、何よりもまず家族に親しみやすいものとなるよう、あらゆる努力が払われています！

セクション別IEP

生徒および家族情報

このページの情報が正確であることが重要です。保護者の方はよく確認し、住所、Eメール、電話番号が正確であることを確認してください。この情報は、学校制度内の他のデータベースから得られることが多く、制度全体の更新が必要になる場合もあります。

生徒および学校情報											
ファーストネーム: _____ ミドルネーム: _____ ラストネーム: _____	保護者/ガーディアン1 ファーストネーム: _____ ミドルネーム: _____ ラストネーム: _____										
住所: _____	自宅電話番号: () - _____ 携帯電話番号: () - _____										
市: _____ 州: _____ 郵便番号: _____	メールアドレス: _____										
学年: _____	保護者のネイティブ言語 (英語以外の場合): _____										
学生番号 (州): _____	通訳は必要ですか? <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ										
学生番号 (ローカル): _____	保護者/ガーディアン2 ファーストネーム: _____ ミドルネーム: _____ ラストネーム: _____										
生年月日: [] [] [] [] [] [] (月・日・年)	自宅電話番号: () - _____ 携帯電話番号: () - _____										
年齢: _____ 性別: <input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	メールアドレス: _____										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">人種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> ヒスパニックまたはラテン系</td> <td><input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> アメリカンインディアンまたはアラスカネイティブ</td> <td><input type="checkbox"/> ネイティブハワイアンまたはパシフィックアイランダー</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> アジア</td> <td><input type="checkbox"/> 黒人またはアフリカ系アメリカ人</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 白人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		人種		<input type="checkbox"/> ヒスパニックまたはラテン系	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> アメリカンインディアンまたはアラスカネイティブ	<input type="checkbox"/> ネイティブハワイアンまたはパシフィックアイランダー	<input type="checkbox"/> アジア	<input type="checkbox"/> 黒人またはアフリカ系アメリカ人	<input type="checkbox"/> 白人	
人種											
<input type="checkbox"/> ヒスパニックまたはラテン系	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ										
<input type="checkbox"/> アメリカンインディアンまたはアラスカネイティブ	<input type="checkbox"/> ネイティブハワイアンまたはパシフィックアイランダー										
<input type="checkbox"/> アジア	<input type="checkbox"/> 黒人またはアフリカ系アメリカ人										
<input type="checkbox"/> 白人											
英語学習者としての承認: <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	ケースマネージャー: _____										
生徒のネイティブ言語: _____	IEPゲームミーティング日時: _____										
居住国: _____	IEPアニュアルレビュー日時: _____										
在籍校: _____	<input type="radio"/> 保護者に手続き上の保護障壁に関する保護者の権利を配布済みです。										
サービス国: _____	<input type="radio"/> 保護者はIEPチームの手続きにおける保護者の権利と責任について										
サービス校: _____	<input type="radio"/> メリーランド州保健管理局の療育サービスの保護者ガイドのコピー										
緊急連絡所が必要ですか? <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	口頭および文面での情報提供を受けました。										
はいの場合、緊急連絡先をこちらにご記入ください: _____	母国語翻訳: 保護者への通知 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> 該当しない										
どの管轄区域での支払い責任がありますか? _____	アニュアルレビュー予定日: _____										
生徒は現在、州機関の庇護下または管理下にありますか? <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	最新評価日: _____										
はいの場合、名称を記入してください: _____	評価予定日: _____										
生徒は保護者代理人が必要ですか? <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	一次障害: _____										
保護者代理人名前: _____ 電話番号: _____	障害分野: _____										



情報をよくご確認ください。
その正確性をご確認ください！



資格情報

次のセクションでは、お子様の特別教育サービスの初期資格と継続資格に焦点を当てます。初期評価への同意日、最初の資格、資格カテゴリー、およびその決定の根拠が、このセクションの一部です。お子様の資格カテゴリーは、再評価によって変更される場合があります。



このセクションの情報は変更される場合があります。このセクションを理解するために見直してください。

地区/州全体での評価への参加および卒業情報

生徒は高校卒業資格またはプログラム修了証書を取得して卒業できます。卒業要件は、IEPプロセスの一環として、毎年保護者に説明する必要があります。これは、生徒が毎年参加する州評価の種類によって、特定の卒業要件を満たすかどうかを知らせるため、重要です。IEPチームが、生徒が卒業証書取得の可能性が低い州の評価（代替評価と呼ばれる）に参加すると決定した場合、保護者の同意が必要となります。このトピックの詳細については、技術支援速報19-07「重大な認知障害を持つ生徒の成績向上」および17-02「Maryland州法に基づく親の同意」をご参照ください。

ディストリクトまたは州レベルでの評価への生徒の参加および卒業情報	
卒業要件を保護者に説明しました <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ www.marylandpublicschools.org から卒業要件をご覧ください。 その他地域の卒業要件記録: _____	
完了の予定カテゴリー: 本生徒は以下とともに終了します: <input type="radio"/> メリーランド州高校ディプロマ (適用される項目をすべて選択) <input type="checkbox"/> 2単位米国のポディランゲージを含む <input type="checkbox"/> 技術2単位 <input type="checkbox"/> 問題なく完了した州承認の経歴と技術教育プログラム <input type="radio"/> 本生徒が21歳になる学年末におけるプログラム修了証 <input type="radio"/> 本生徒が21歳になる学年末前のプログラム修了証 (保護者と生徒本人の選択)	
終了予定日: 本生徒は _____ 年生のプログラムに参加し、 _____ (月・日・年) に学校を卒業または修了予定です	
終了時、本生徒は学業成績、機能パフォーマンス、アコモデーション、中等教育後の目標進捗を含むメリーランド州パフォーマンス報告 (MSOP) を受け、本生徒と保護者は教育文書 § 8-412.1 のメリーランド州法律集にて規定される特定の状況を除き、マジョリティの年齢に達した障害を持つ生徒を転校させたか? <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> 該当しない	
現在のIEP期間中に実施さえるメリーランド州包括的なアセスメントプログラム (MCAP) への参加計画 本生徒は3年生から8年生までメリーランド州包括的なアセスメントプログラム (MCAP) アセスメントに参加します 英語言語芸術/文学 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 数学 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 社会 (8年生のみ) <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	
本生徒は高校生向けメリーランド州包括的なアセスメントプログラム (MCAP) アセスメントに参加します 英語言語芸術/読み書き <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 代数 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 科学 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 政治学 <input type="radio"/> はい	



これらはすべて、児童の学校卒業後もずっと影響する、非常に重要な決定事項です。

学業成績及び機能パフォーマンスの現在のレベル (PLAAFP) : パート I

PLAAFPは、IEP全体の基礎となるものです。生徒をどこに行かせたいかを知るためには、生徒がどこにいるのかを知る必要があります。IEPのこのセクションには、反映される分野によって複数のデータ源が含まれています。健康、学業、社会的／情緒的、行動、運動、コミュニケーション、移行、その他学校生活で取り組む必要のある分野など、影響の各分野のセクションを設けるべきです。影響の各分野は、目標、補助的支援およびサービス、またはIEPの宿泊施設によって対処されます。但し、健康上のPLAAFPは例外で、保健計画、サービス、または、健康状態が授業中に生徒に影響を与える可能性があります。学校環境では定期的に対処されないため、情報提供によって対処される場合があります。学業PLAAFPには、読む力、数学、筆記言語の全分野における生徒の学年レベルの成績を記載する必要があります。



PLAAFPセクションは
IEPの根幹を成すもの
です

学業成績及び機能パフォーマンスの現在のレベル:パート II

本セクションは以下の3部構成となっています:(1)保護者の懸念事項、(2)生徒の強み、関心分野、個人の成果、学校環境以外の属性、(3)影響に関する記述。保護者の懸念事項は大抵、会議前に書面で提出され、会議中にレビューを行います。保護者が会議中に懸念事項を提供することもあります。これについても、本セクションで取り上げます。

IEPチームのメンバーは、学業以外の面においてもお子様について知っておくことが重要です。例えば、学校の外では何をしていますか?何か受賞歴はありますか?特定のスポーツチームを応援していますか?移行活動の指針になるような、何かへの強い関心を持っていますか?これらすべてが動機づけになるのはもちろん、お子様のことを知り、お子様との関係を深めるのにも有用となります。

影響に関する記述はIEPの重要な部分です。影響に関する記述は、包括的かつPLAAFPのデータが、生徒の障害がクラスでどのように影響しているかを関連付けるものでなければなりません。例えば、数学の計算が苦手な生徒の場合、数学の授業や、おそらく化学や物理の授業で数学的事実を正確に計算する能力に影響が出る可能性があります。

学齢期 - 学業成績及び機能パフォーマンスの現在のレベル

本生徒の教育プログラムにおける保護者のインプットは? (学業、各種能力、社会性/感情面、行動、中等教育への移行など)

本生徒の強み、関心分野、個人的特性、個人的達成はなんですか? (指向、ポストスクールアウトカムへの関心を含む。)



IEPに織り込む保護者の懸
念事項は、会議の実施前
や実施中に提供されます。

中等教育への移行サービス

児童は学校に通い始めたその日から、次の段階へ向けて準備をしています。大学進学であれ、キャリアであれ、地域社会のためであれ、生徒が学校生活の初めから学ぶことすべてが、どのような道に進み、学校から移行したときにどのような貢献をするかの訓練になります。Maryland州では、14歳から正式な移行手続きが始まります。IEPには、生徒の希望/興味/技能、移行活動、教育課程、関係機関との連携など、中等教育への移行に特化したいくつかのセクションがあります。より詳細な情報については、「中等教育への移行に関する家族ガイド」をご参照ください。



特別な配慮

特別な配慮のセクションには、お子様の教育プログラムにおける以下の重要な要素が記載されています：

- コミュニケーションの必要性；
- 福祉用具の必要性；
- 盲目または視覚障害を抱える生徒のサービス；
- ろう生徒または聴覚障害を抱える生徒へのサービス；
- 拘束または隔離の使用を含む、行動上のニーズ
- 英語学習者生徒へのサービス。

コミュニケーション (必要な場合)		
生徒の障害はコミュニケーションに影響を及ぼしますか。○はい○いいえ (はいの場合、IEPでどのようなコミュニケーションの必要性に対処するかを簡単に説明してください。)		
生徒には記号コミュニケーションの信頼できる手段(発音、手話、拡張コミュニケーションなど)を有していますか。○はい ○いいえ (いいえの場合、効果的なコミュニケーションを達成するための提供する目標、サービスまたは他の支援を説明してください。)		
福祉用具 (必要な場合)		
障害を抱える生徒の機能能力を向上、維持、改善するのに必要なATデバイス及びサービスの使用をお考えください。		
判断：	ATデバイスが必要である	ATデバ
○ 本生徒はATデバイスまたはATサービスを必要としない。	いいえ	
○ 本生徒はATデバイスを必要としないが、ATサービスを必要とする。	いいえ	トライアルを含む
○ 本生徒はATデバイスおよびATサービスを必要とする。	はい	サービス必要とされている を含むさらなるデータ収集
○ 本生徒はATデバイスを必要とするが、ATサービスは必要としない。	はい	



隔離は、非常に特殊な状況下においてのみ、公立学校以外の学校に通う生徒に対して行われます。



指示及び評価アクセシビリティ機能

IEPのこのセクションには、いくつかのサブセクションがあります。まず、すべての生徒が利用できるアクセシビリティ機能です。但し、IEPを持つ生徒の場合、機能がIEPの一部であれば、利用可能だけでなく、その機能が提供されている必要があります。従って、IEPチームはそれぞれを検討し、生徒の教育プログラムの必須要素であるかどうかを判断する必要があります。いくつかのアクセシビリティ機能は、生徒やスタッフの準備のために事前に確認する必要があります。

次のサブセクションには、IEPまたはセクション504プランのある生徒にのみ使用できるプレゼンテーションの便宜が記載されています。これらの配慮は、生徒のPLAAFPに反映されたニーズによって対応され、指導中、授業中の評価、州の評価の間で使用される必要があります。

次のサブセクションには、IEPまたはセクション504プランを持つ生徒にのみ使用できる対応措置が記載されています。このような配慮の中には、IEPに含める時期について厳しい条件を設けているものもあります。例えば、評価の計算項目における計算機器や、読み書きの評価における人間の読み手などです。これらの配慮は、生徒の

PLAAFPに反映されたニーズによって対応され、指導中、授業中の評価、州の評価の間で使用される必要があります。

最後のサブセクションでは、タイミングの措置について説明します。これらの配慮は、生徒のPLAAFPに反映されたニーズによって対応され、指導中、授業中の評価、州の評価の間で使用される必要があります。

措置の文言の中には、明確でなかったり、あなたが考えている通りの意味でなかったりするものもあります。念のため、説明を求めてください。



覚えておいてください:これらの支援は、指導中と評価中の両方で使用されるべきです。

IEPのこのセクションには、専門的指導に不可欠な要素が含まれています。ここでは、生徒固有のニーズに合わせて指導が変更されます。以下がこのセクションの支援です。

- 指示支援；
- プログラム修正；
- 社会/行動支援；
- 物理的/環境支援
- 学校職員/保護者支援。

各補助、サービス、プログラム修正、支援について、チームは、それぞれの実施場所と実施方法を明らかにする必要があります。「学校職員/保護者支援」欄には追加情報が必要です。

またこのセクションでは、実施頻度、提供者、支援期間の決定も求められます。



移行、アクセシビリティ機能、補助支援、サービス、プログラム修正と支援、目標、サービスには、学校の長期閉鎖中の実施に関する規定が含まれています。



”

保護者がビジョンステートメントを共有することで、児童の将来に対する希望について個人的な情報を共有できます。この情報は貴重な洞察を提供し、IEPチームはその生徒を診断やレッテル以上のものとして見ることを可能にします。

—Wendy Taylor



学年延長

すべての生徒が学年延長 (Extended School Year (ESY)) サービスを受けられるわけではありません。ESYはサマースクールではないため、ESYサービス期間中に単位を取得することはできません。ESYの対象となる生徒は、今年度中に発生した休学による大幅な後退と、休学前の状態に戻るのに要した時間の長さにより、次学年度での進歩が危ぶまれる生徒です。ESYの参加資格はデータに基づいて決定されます。IEPチームは、あなたの生徒がサービスを受ける資格があるかどうかを判断します。ESYの目標は、スキルを向上させるのではなく、スキルを維持することです。次学年度の始まりに、生徒が現在のスキルを強化できるようにすることです。

学年延長 (ESY)	
IEPチームは以下の要素が本生徒がESYサービスを受領しなかった場合、通常学年内に教育プログラムを受ける能力が著しく悪影響を受けるか否かを判断して下さい。ESYサービスは個別化された特定特別教育の一部であり、IEPに基づき保護者の負担なしに公的機関の通常学年を超えて提供される関連サービスです。	
○ ESY判断延期	
ESYを考慮した際、はいかいいえでお答えいただき、その理由も記録して下さい：	
1. 本生徒のIEPには重要な社会的スキルに関連する年間目標が含まれていますか？ ○ はい ○ いいえ	判断材料議論： _____
1a. 通常の学校休暇中に重要なライフスキルの相当な進行し、そのスキルが一定期間内に回復しない 可能性がありますか？ ○ はい ○ いいえ	判断材料議論： _____
1b. 本生徒は重要なライフスキルに関するIEP目標に向かって進歩していますか？ ○ はい ○ いいえ	判断材料議論： _____
2. スキルの獲得が見えたり、ブレイクスルーの可能性はありますか？ ○ はい ○ いいえ	判断材料議論： _____
3. 妨害行動がありますか？ ○ はい ○ いいえ	判断材料議論： _____



学年延長サービスを受ける資格は、IEPチームがデータに基づいて決定します。

年間目標

年間目標は、PLAAFPで特定された生徒のニーズ分野に基づいています。目標とは、生徒の成績と学年基準との差を縮めることを可能にする優先分野のことです。目標は個別に設定され、以下の5つの要素から構成されます。(1)目標の実施・測定条件、(2)測定可能な行動または行為、(3)目標に取り組む期間、(4)測定方法、(5)習得を証明する基準。各目標には、これらの要素を含む一連の目標も含まれます。IEPチームはまた、年間目標の進捗状況を家族に報告する頻度も決定します。生徒がその評価期間内に目標達成のための十分な進歩が見られない場合、IEPチームはどのような要因が生徒の進歩に影響しているかを話し合うために会議を開き、必要に応じて目標または生徒の教育プログラムに必要な調整を行う必要があります。目標の進捗は重要ですが、家族に報告されるのは年間目標の進捗状況のみです。



IEPチームは、生徒が年間目標を達成するために十分な進歩が見られない場合、会議を開く必要があります。保護者は、生徒が順調に進んでいるかどうかを確認するために、進捗報告書を注意深く確認する必要があります。

目標	この目標は、中等教育後の目標を支えるものですか？ 「はい」の場合、それを挙げてください： <input type="checkbox"/> 就労 <input type="checkbox"/> ！
目標（条件、行動、タイムフレーム、測定方法、クライテリアを含む）： _____	
タイムフレーム： <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> (月・日・年) まで	
測定方法（該当するもの全てをお選び下さい）： <input type="checkbox"/> 情報手続き - (使用ツール/メソッド) _____ <input type="checkbox"/> クラスルームベース評価 - (使用ツール/メソッド) _____ <input type="checkbox"/> 観察記録 <input type="checkbox"/> 標準アセスメント - (使用ツール/メソッド) _____ <input type="checkbox"/> ポートフォリオアセスメント <input type="checkbox"/> その他 _____	
クライテリア（習得と保持）： <input type="checkbox"/> % の正確性 <input type="checkbox"/> % 減少 <input type="checkbox"/> トライアル中 _____ <input type="checkbox"/> % 増加 <input type="checkbox"/> その他 _____	
ESY目標？ <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	
緊急時のIEP計画： この目標を学校が10日以上閉鎖する緊急事態においても書面にて記載されるように実施できますか？ <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> いいえの場合は、目標で変更すべき点を記入してください： _____	
目的1（条件、行動、タイムフレーム、測定方法およびクライテリアを含む）： _____	目的3（条件、行動、タイムフレーム、測定方法およびクライテリアを含む）： _____



IEPチームは生徒に対して大きな期待を持ち、生徒が有意義な進歩を遂げるのに十分な野心的で挑戦的な目標を立てるべきです。



生徒が受ける特別に設計された指導と関連サービスは、生徒のPLAAFPによって決められます。

サービス

チームは、生徒が無償の適切な公教育 (Free Appropriate Public Education: FAPE) を受けるために必要な、特別に設計された指導や関連サービスなどのサービスを決定します。サービスは、一般的な教育環境や、別の環境で提供される場合もあります。チームはまた、特別教育者、一般教育者、指導補助者、関連サービス提供者、他の個人、または複数のスタッフの組み合わせなどのこれらのサービスを提供する人員、およびサービスの期間を決定します。

最も制約の少ない環境

IDEAの義務のひとつは、生徒が可能な限り障害のない同級生と一緒に教育を享受できるようにすることです。これは、最も制約の少ない環境 (LRE) にいることと呼ばれています。包括的な環境で教育を受けることで、すべての生徒に多くの利点があることが、研究で示されています。

その利点とは、社会的、学業的、感情的、身体的、行動的なもので、その他のポジティブな効果があります。インクルージョンはすべての生徒の成長を助けます。IEPチームが、生徒を一般教育の場から一定期間退出させる必要があると決定した場合、その決定を正当化し、退出による生徒への潜在的な損害を考慮する必要があります。生徒を一般教育の場から退出させる決定の根拠は、PLAAFPに反映されている生徒のニーズによって決められます。

最も制約の少ない環境 (LRE) 判断&プレースメント概要
 障害のある生徒が、一般的なカリキュラムに必要な修正を加えるという理由だけで、年齢相応の指導環境における一般教育から外されることはありません。各公的機関以下を引き受ける必要があります：
 (1) 公立または私立の施設やその他のケア施設にいる子どもを含め、障害のある子どもは、適切な最大限の範囲において、障害のない子どもと一緒に教育を受けます；
 (1) 特別学級、分離教育、または障害を持つ児童を通常の教育環境から排除するのは、障害の性質や程度が、補助的な補助サービスを利用して通常の学級での教育に十分な場合に限られます。
 34 CFR § 300.114

IEP チームが検討したすべてのプレースメントの選択肢を列挙してください。 _____

選択したプレースメントオプションを示してください。 _____
 選択した最も制限が少ない環境を示してください。 _____

特別教育プレースメント (プレースクール3歳から5歳) :

通常初等教育プログラムに毎週10時間参加し、特別教育と関連サービスをその環境下で大半の教育を受ける
 通常初等教育プログラムに毎週10時間参加し、特別教育と関連サービスを他の場所で大半の教育を受ける
 通常初等教育プログラムに毎週10時間未満参加し、特別教育と関連サービスをその環境下で大半の教育を受ける
 通常初等教育プログラムに毎週10時間未満参加し、特別教育と関連サービスを他の場所で大半の教育を受ける

サービス提供場所 別クラス プライベート個別ディスタール プライベート居
 自宅 公立個別ディスタール 公単居住施設

特別教育プレースメント (学校年齢K-21) :

{ 合計時間 _____ 分/週 } - { 合計時間 (外) _____ 分/週 } ≡ { 合計時間 _____ 分/週 }
 学校週: _____ 分/週 } - { 一般教育: _____ 分/週 } ≡ { 一般教育: _____ 分/週 }
 平均 _____ %/日 一般教育内 (80%以上) 公立個別ディスタール プライベート居住施設 親とともに私立学校
 一般教育内 (40%から79%) プライベート個別ディスタール 変宅/病院 親とともに私立学校
 一般教育内 (40%以下) 公立居住施設 矯正施設

LREと判断した根拠を文書化し、通常の幼児教育プログラム/一般教育環境から除外される場合は、補助的な援助やサービスを使用してもその環境でサービスを提供できない理由を説明



MSDEは、すべての生徒の個々のニーズを満たすために、連続的な学習環境を全面的に支援します。

生徒のIEPの理解について支援が必要な場合は、家族支援チーム (410-767-0255) までお問い合わせください。

用語集

アクセシビリティ機能

指導や評価の際にすべての生徒が利用できる支援ですが、IEPに含まれている場合は、生徒に提供される必要があります。

ESY

通常の学年または曜日を超えて提供されるサービスで、生徒がスキルを維持し、次学年への進級を危うくするような重大な後退を防ぐものです。

FAPE

特別教育を受ける資格のある児童たちは、無償で適切な公教育を受ける権利があります。つまり、その人固有のニーズに合ったサービスや支援が無料で提供されるということです。

IEP

これは、児童が受けるサービスや専門的な指導の概要を記載した計画書です。

最も制約の少ない環境(LRE)

生徒が障害のない同級生と、どの程度一緒に教育を受けるかに関連します。

PLAAFP

IEPの構成要素です。生徒の強みとニーズを反映する複数の情報源から収集されたデータは、教育プログラムの指針となります。

特別教育

生徒の固有のニーズを満たすために特別に設計された指導と関連サービスです。





保護者向けチェックリスト

次の質問に「はい」と答えられますか？

Maryland州のIEPプロセスを理解することは、生徒の学校とのパートナーシップを築く上で非常に重要です。以下の質問のいずれかに「はい」と答えられない場合は、生徒のケースマネージャーまたは地域の家族支援サービスコーディネーターがお手伝いします！

特別教育プロセス

- Maryland州における特別教育プロセス(紹介、評価、IEP策定、進捗報告、年次見直し、スケジュール、保護者の権利/手続き上の保護措置など)を理解していますか？
- 評価プロセスと資格の決定方法を理解していますか？
- 評価プロセスにおける自分の役割を理解していますか？
- 児童の評価を計画する上で、自分の懸念や優先事項を共有できることを知っていましたか？
- 評価に書面による同意書の提出が必要なことを理解していますか？
- 評価プロセスの後、IEP策定における自分の役割を理解していますか？
- お子様がなぜ特別教育を受ける資格があるのか、また、お子様が特別教育や関連サービスからどのような利点を享受できるのかを理解していますか？
- お子様が特別教育サービスを受ける資格がないと判断された場合、その理由を理解していますか？
- お子様が特別教育サービスを受ける資格がないと判断された場合、必要であれば、他にどのような支援が受けられるかご存知ですか？

IEP

- IEPの目的を理解していますか？
- IEPチームにおける自分の役割を理解していますか？
- IEPの完了と見直しのスケジュールを知っていますか？いつでもIEPの見直しを要求できることを理解していますか？



- お子様のIEP目標と、目標を達成するために使用される特別に設計された指導とサービスを理解していますか？
- お子様が大学、地域社会、職業に就く準備ができるよう、目標がどのように役立つか理解していますか？
- サービスの開始時期、実施頻度、実施場所、提供実施期間をご存知ですか？
- サービス開始のためには、最初のIEPに同意書を提出が必要なことを理解していますか？
- EPのサービスはすべて拒否できることをご存知ですか？
- 進捗の判断方法をご存知ですか？

保護者の関与:IEPプロセスへの完全参加

- 母国語または手話などのコミュニケーション手段による情報共有が必要な場合、地域のIEPチームはその必要性に応じましたか？
- 学校と協力することで、お子様の学習をどのように手助けできるかを理解していますか？
- お子様の教育プログラムに懸念がある場合、どうすればよいかご存知ですか？
- アドボカシーや家族支援プログラムについて、またその利用方法についてご存知ですか？
- 教育情報の共有方法やお子様の記録の守秘方法をご存知ですか？
- お子様の教育プログラムにとって重要な文書

やメモを保存していますか？以下の文書を含む：

- 現在および過去のIEP
 - 医療評価報告書
 - 評価報告書
 - 保護者の権利/手続き上の保護措置に関する通知
 - 署名入りの情報公開書式
 - 教師からの注意事項
 - サービス提供者からの連絡
 - IEPチーム会議のメモ
 - 電話での会話のメモ
- Maryland州には、家族支援サービス(FSS)コーディネーターの全州ネットワークがあることをご存知ですか？FSSコーディネーターは、障害のある児童の家族を支援するために、以下のようなサービスを提供しています：
 - 早期介入および特別教育サービスに関する質問への回答
 - 移行計画における家族への支援
 - 意見の相違を解決するための詳細情報の提供



質問がある、支援を求めている 方へのご提案

地域の家族支援サービスコーディネーター

地方教育機関	誕生～5歳	5歳～21歳
Allegany	240-920-6829	240-920-6829
Anne Arundel	410-562-6303	410-424-3258
Baltimore City	410-396-1666	443-642-3848
Baltimore County	443-809-9696	443-809-5443
Calvert	443-550-8406	443-550-8375
Caroline	410-479-3609	410-479-3609
Carroll	410-751-3955	410-751-3955
Cecil	410-996-5637	410-996-5637
Charles	301-934-7456	301-934-7456
Dorchester	410-901-6915	410-901-6915
Frederick	240-578-1244	240-236-8744
Garrett	301-533-0240、内線2	301-914-1351
Harford	410-273-5579	410-273-5579
Howard	410-313-7161	410-313-7161
Kent	410-778-5708	410-778-5708
Montgomery	240-777-4809	240-753-9487
Prince George's	240-521-5054	301-431-5675
Queen Anne's	410-556-6103、内線10	410-758-2403、内線135
Somerset	410-651-1616、内線11385	410-651-1616、内線11385
St. Mary's	301-475-5511、内線32218	240-309-4113
Talbot	410-822-0330	410-822-0330
Washington	301-766-8221	301-766-8221
Wicomico	410-677-5250	410-677-5250
Worcester	410-632-5234	410-632-5234
Maryland州盲学校 (Maryland School for the Blind)	410-444-5000、内線1489	
Maryland州ろう学校 (Maryland School for the Deaf)	443-277-8899	
Maryland州教育局 (Maryland State Department of Education)	410-767-0255	

MARYLAND STATE DEPARTMENT OF EDUCATION

Mohammed Choudhury

州教育長

Dr. Deann Collins

Deputy Superintendent for Office of Teaching and Learning

Clarence C. Crawford

Maryland州教育委員会会長 (President, Maryland State Board of Education)

Wes Moore

知事

© 2023 Maryland State Department of Education

この出版物は、Maryland State Department of Educationの早期介入および特別教育サービス部門 (Division of Early Intervention and Special Education Services) によって米国からの資金提供を受けて作成されました。Department of Education、助成金 #H393A090124A、PL 105-17/111-5 障害者教育法/米国復興再投資法に基づく幼児および家族のための特別教育助成金「回復基金」。Maryland State Department of Education, Division of Early Intervention and Special Education Servicesは、州および地方機関および組織が調整する州全体のサービスおよび支援プログラムであるMaryland Infants and Toddlers Programの主任機関です。この出版物に含まれる情報をコピーまたは共有する使用者は、以下を著作権表記しなければなりません: Maryland State Department of Education, Division of Early Intervention and Special Education Services, Dr. Deann Collins、教育学習局副教育長 (Deputy Superintendent for Office of Teaching and Learning)。



410-767-0100



www.marylandpublicschools.org



200 West Baltimore Street
Baltimore, MD 21201-2595